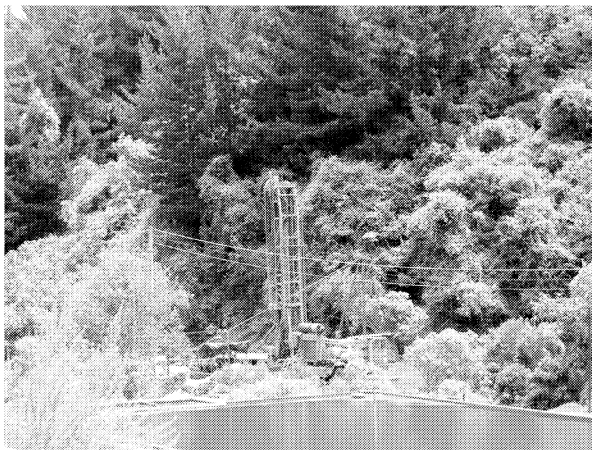
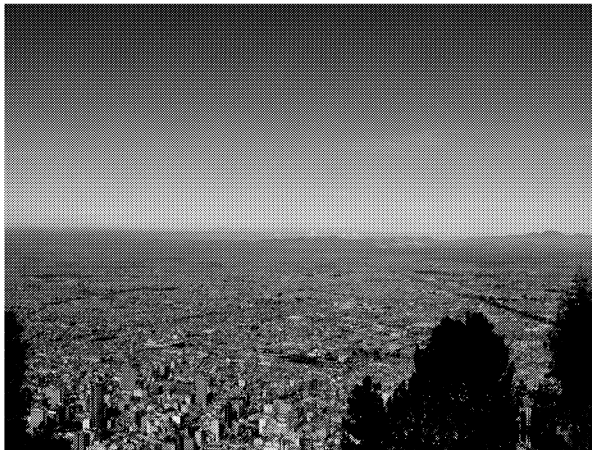


コロンビア国
ボゴタ平原持続的地下水開発計画調査

ファイナルレポート
要約報告書



平成15年2月

為替交換レート

US\$1.00 = Col.\$2,700 = ¥135.00 (2002年7月)

序 文

日本国政府は、コロンビア共和国政府の要請に基づきボゴタ平原持続的地下水開発計画に係る調査を実施することを決定し、国際協力事業団がこの調査を実施することと致しました。

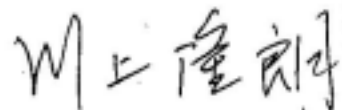
当事業団は、平成12年11月から平成15年1月までの間、3回にわたり八千代エンジニアリング株式会社国際事業部環境・水資源部長の渡辺正知氏を団長とする調査団を現地に派遣しました。

調査団は、コロンビア国政府関係者と協議を行うとともに、計画対象地域における現地調査を実施し、帰国後の国内作業を経て、ここに本報告書完成の運びとなりました。

この報告書が、本計画の推進に寄与するとともに、両国の友好・親善の一層の発展に役立つことを願うものです。

終わりに、調査にご協力とご支援を戴いた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成15年2月



国際協力事業団
総裁 川上 隆朗

伝 達 状

国際協力事業団

総裁 川上 隆朗 殿

コロンビア国ボゴタ平原持続的地下水開発計画調査の最終報告書を提出いたします。本報告書は、地下水開発・保全事業計画を提案していますが、取りまとめに当たっては、貴事業団のご助言やご指示に従うとともに、コロンビア国ボゴタ上下水道公社の意見を反映して作成いたしました。

本報告書は、2015年を目標年としたボゴタ平原の地下水開発のマスタープランを提案しています。この中で、コロンビア国の首都であるボゴタ市の給水を目的とした地下水開発・保全事業と、ボゴタ平原における地下水保全事業を提案しています。現在、ボゴタ市の給水は表流水を利用して行なわれていますが、その一部分を地下水に置きかえることが可能です。それによって、常時および緊急時の給水の安定性を大きく向上させるだけでなく、ボゴタ平原の河川環境を改善し、更に、新たな経済的便益を生み出すことが出来ます。

地下水開発計画の立案に当たっては、開発と同時に地下水資源を保全する方策を提案しています。ボゴタ平原の地下水は花卉栽培およびその他の用途のための水源として、現在、高度に利用されており、この地下水はボゴタ平原に大きな利益をもたらしています。この地下水資源を保全することはボゴタ平原における地下水利用を今後とも継続するために必要であり、その方策を取りまとめています。

ボゴタ平原における地下水開発および保全の必要性および緊急性の観点から、コロンビア国政府がマスタープランで提案された地下水開発事業および保全事業に早急に着手することを勧告しています。

本報告書の提出にあたり、多大なご支援を賜った貴事業団、外務省、ならびにコロンビア国ボゴタ上下水道公社をはじめ関係各位に対し心から感謝の意を表すものであります。

平成 15 年 2 月

渡辺 正知

渡辺 正知

コロンビア国
ボゴタ平原持続的地下水開発計画調査
調査団 総括